

6)第六日目 朱鞠内湖 / 松山湿原 ~ 猿払 H19年6月23日(土) 曇り

- 一晩中雨の音が大きくてあまり寝ていないし、車から一步も出られなかった。
今 4:30 雨はやんでいる。車から出るチャンスだ！
結局この道の駅に止まったのは私ともう一台軽ワゴン車の2台のみ。
小さい軽ワゴン車から老夫婦が出てきて「軽ワゴンじゃ狭いな！」と言う。当然でしょう。
札幌の人で、釣りをしながら道内を回っているとのこと。



道の駅「ほろかない」



雨の朱鞠内湖

- 幸い雨がやんでいるので車外で朝食をとり 7:20 駐車場をでる。また雨が降り出してきた。
美深の朱鞠内湖はドシャ降り、車の外にも出られない。湖はあきらめ一路猿払へ向かう。
走っているうちに雨はあがった。途中松山湿原あたりでは雨の心配がなくなったので湿原に寄る事にした。
国道から5kmも入ったところに松山湿原入口の駐車場があり車が1台止まっている。そこに車を止め傘とカメラだけ持って湿原をめざす。すぐだろうと甘く見たが、なんと結構な山道を1km近くも登らされた。



松山湿原入口



松山湿原

- 登り道はゴゼンタチバナ、エゾイチゲ、スマレ、ツマトリソウ、ツバメオモトなどなど、けっこう花も豊富で写真を撮りながら登ったので、湿原入口まで40分近くかかってしまった。途中会う人も無く大変静か。湿原は木道がよく整備され一周できる。一周20分ほど、もうシーズンも終わったのだろう、一面ワタスゲが咲いているだけで寂しかった。誰一人いない静かな木道をはじめは楽しんで歩いたが、そのうちヒグマが出るのではないかと怖くなり、鈴を鳴らしながら早足で歩いた。

- 11:40 駐車場に下山、カップラーメンを作って昼食とした。
駐車場には3台くらい車の出入りがあった。
湿原駐車場を 12:20 出発、先を急いで東へ向かう。



エゾイチゲ

- 幌内でオホーツク海に出てそこから海岸線に沿って国道238号線を北上する。完全舗装の直線道路、車も殆ど通っていない快適な道、平均時速70kmくらいで飛ばす。ここへ回ったのは恵美子さんが住んでいたという枝幸に寄りたかったから。枝幸の道の駅「マリーンアイランド岡島」に寄り、「身内の娘が枝幸の保険会社に勤めていた」と店員に話したら「北の浜頓別にみんな引っ越してしまい、いま枝幸には何も無い」とのこと。そこそこ大きな町で、なるほどハイカラな家はちらほらあるが海岸にへばりついた寂しい町だった。



国道238・枝幸町の標識が



クッチャロ湖

- 枝幸町を出て寂しい海岸線を一路北上、途中にある枝幸の隣町浜頓別町のクッチャロ湖に立ち寄る。白鳥の湖として宣伝しているようだが、今は時期的に白鳥はいないためきわめて静かな寂しい湖だ。

- 15:15 道の駅「さるふつ公園」に到着。だだっ広い海岸にヌッと建っている要塞みたいな駅だ。周りには何も無い。

- 写真の記録整理や車内の整理をして温泉に入る。なかなか良い風呂だが350円とは安い。こんな寂しいところなのに結構客がいる。ここにはホテルも併設されていて泊り客もけっこういるようだ。



道の駅「さるふつ公園」

- ホテルのレストランで食事をとる。ホタテ唐揚げ丼とざるそばのセット(1260円)と中生で乾杯！！。明日はとうとう利尻へ渡る予定だ。外はどんよりとして風が強く寒い、さすが日本の最北の地。気温は12℃、明朝は10℃を切るだろう。車内を暖房にしている。車内泊の寂しい連中が7~8台固まって止まっているのでその仲間に入って駐車。今19時、外はまだ明るいけど明日の利尻を夢見て寝に入る。おやすみ。

[松山湿原で見られた花] 18種(名前のわかったもの 14種 + 名前不詳 4種)

- ・ズダヤクシュ ・エゾノハクサンイチゲ ・クルマバソウ ・ツバメオモト ・エゾイチゲ
- ・オオバナノエンレイソウ ・ミズバショウ ・ショージョーバカマ ・イソツツジ ・ツマトリソウ
- ・エゾイソツツジ ・ヒメシャクナゲ ・マイズルソウ ・ゴゼンタチバナ